

安定的な経営の実現に向けた販路拡大への挑戦

ばんどうし
【茨城県坂東市】

体制・人材
づくり
栽培作物
・方法
加工・出荷
販売

【工夫のポイント】

- 狭小かつ不整形な農地の区画整理や畑地かんがい施設の導入により、担い手への農地集積及び新規作物の導入が実現。
- 基盤整備を契機に生産組合を設立。農業機械の共同利用等を通じて営農コストの低減に取り組む。
- 契約栽培や複数販路への販売を通じて経営の安定化を図るとともに、法人雇用を通じて地域雇用の創出にも貢献。

畑地かんがい施設の導入や区画整理による 品質・収量の安定と経営規模の拡大

- 畑地かんがい施設の導入を通じた安定した農業用水の供給によって、品質・収量の安定した野菜生産が実現。また、区画整理によって小規模で分散していた農地を担い手に集積・集約し、担い手の規模拡大や法人化を後押し。



大区域で集約された農地



かん水の自動化

基盤整備

(H13年～H26年)

【整備前】

狭小かつ不整形な農地では、農作業に多大な労力を要していた。また、天水に頼った品質、収量の不安定な営農であり、生産者の高齢化や後継者不足と相まって、産地の維持が課題となっていた。



区画が小さく分散した農地



人力によるかん水状況

【取組地域の概要】

- 位置 ばんどうし 茨城県 坂東市 寺久



茨城県

- 主要作物
 - ・春レタス、夏ネギ、秋レタス
- 主な支援施策
 - ・国営霞ヶ浦用水土地改良事業 (S55～H20)
 - ・県営水利施設整備事業 (基幹水利施設整備型) (H7～H30)
 - ・県営農地整備事業(担い手支援型) (H13～H26)
 - ・県単農地集積基盤整備推進事業 (H19～H26)

生産現場

営農コスト低減や高収益作物の導入

- 基盤整備を契機に設立した生産組合によって農業機械の共同利用などに取り組み、営農コストを低減。
- 地元JAが推奨する新規作物の導入により収益性を向上。



加工・流通

契約栽培等による経営の安定化

- 大手企業との加工用トマトの契約栽培により、市場価格に左右されない農業経営を実現。
- キュウリ(ハウス)は、JAの他、野菜加工会社など販路の複数化によって、経営の安定化を実現。

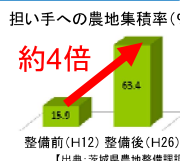


出荷・積み込み作業

担い手

儲かる農業を展開する法人経営体の出現

- 担い手への農地集積を契機に法人化する経営体が出現。
- 周年出荷体制の確立に向けた労働者の確保を通じて、地域の雇用創出にも貢献。



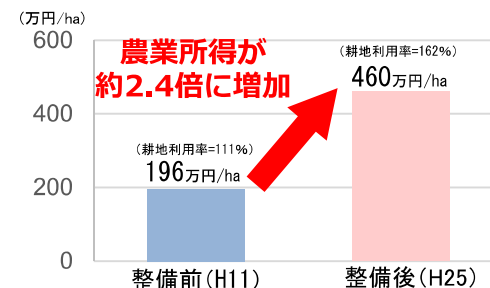
経営規模の拡大と高収益作物の安定生産によって農業所得が増加

- 坂東市地域(JA岩井)は、夏ネギ・秋レタスが東京都中央卸売市場取扱金額の約2割を占める全国有数の野菜産地に成長。
- 担い手への農地集積による営農コストの低減や高収益作物の安定供給・生産拡大を通じて地域の農業所得増加を実現。



ブランド化した夏ネギ

寺久・三地区における農業所得(1ha当たり)の変化



【出典：茨城県農地整備課推計値】